

# ゆうすい

第25号



社会福祉法人 遊佐厚生会

特別養護老人ホーム

**ゆうすい**

TEL 0234-71-2133 FAX 0234-71-2134

遊佐町老人デイサービスセンター

**あいあい**

TEL 0234-71-2144 FAX 0234-71-2156

ケアプランセンター

**ゆうすい**

TEL 0234-71-2155 FAX 0234-71-2156

遊佐町地域包括支援センター

**ゆうすい**

TEL 0234-71-2130 FAX 0234-71-2156

〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字木ノ下2

新年度を迎えて



社会福祉法人 遊佐厚生会  
理事長 今野 熊治郎

今年の冬は豪雪で高齢者にも除雪等で犠牲者を出しましたが、ようやく春めいて梅の花も咲き始めました。

遊佐町でも、高齢化率が上昇するなかで、一人暮らしの高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加しております。このことにより、食事支度の面倒から食事抜きや、介護疲れ等からくる生活苦での事件が聞かれます。

それを裏付けるように、「ゆうすい」への入所待機者も増加しています。遊佐厚生会では、平成26年4月開所に向けて、吹浦小学校跡地に入所29名、短期入所10名の施設建設設計画を進めております。

一人でも多くの人に安全・安心と幸せが訪れる事を願いながら。

# イベントあれこれ...



# ゆうすい 楽しい



# あいあいではこんなレクをしています

和やかなムードで場を盛り上げます  
「さあ始めますよ」<レクの始まり>



音が鳴ると、自然に  
体が動きます！<あいあい体操>



いつまでもおいしく  
ご飯食べられます様に <口腔体操>



んめーたこ焼き作っぞ！<手作りおやつ>



大きい声で歌えば元気になります  
<今月の歌>



サンタさんと仲よくニコッ  
(X'mas会)



利用者も、職員も  
芸達者で、いつもノリノリです



趣向を凝らしたゲームに大笑い！！  
みんな、いい笑顔だったの一



鬼！「まいといった、まいといった」  
<豆まき>



今年も楽しく  
過ごしまじょうね  
(新年会)

## 高瀬赤十字奉仕団による 職員の炊出し訓練



平成24年12月14日

地震想定訓練の後に、やうすいホールで、職員と利用者で、災害時の炊き出しを学びました。アイラップに入れた水と米で、ご飯を炊き、大根とさば缶をだし醤油で味付けし、鍋で40分位煮ました。災害時に、身近にある材料で手早くおいしい食事が出来る事を体験しました。

高瀬赤十字奉仕団の方々、本当に有難うございました。

平成二十四年度やうすいでは、実際被災地に出向いて活動しようとすることになり、社会福祉協議会で行われている「被災地支援ボランティア」に申し込みました。五月二十六日から十二月七日に、延べ四十六名の職員が参加しました。震災から一年以上たつても手つかずの地が広がる光景に、改めて被害の大ささを実感しました。瓦礫撤去、側溝さらい、草むしり等、慣れない作業は困難を極め、自分達の力のなさに愕然とした思いを抱いた反面、多くの職員からは、機会があったら是非また参加したいといった声が多く聞かれました。

## 被災地支援 ボランティアに参加して



陸前高田市にて



## 厨房より

今年度より、人気メニューのぼたもちの日を月2回に増やし、大変喜ばれています。また、郷土料理週間・お頭付きの魚の提供・手作りソフト食の定着化など新たに取り組んできました。まだまだ課題はたくさんありますが、来年度もおいしいと言ってもらえる食事を目指して、引き続き取り組んでいきたいと思います。



ぼたもちの日

ごまだれの日もあります



クリスマス会の食事

# 「認知症サポーター養成講座」

認知症地域支援推進員 榎原 多恵

高齢化が進み、認知症や一人暮らしの増加する中、介護が必要とする方ができる限り住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けるには、家族、近隣、地域の協力がとても重要です。

また、増加し続ける「認知症」について、基礎知識を学ぶことで上手な関わり方を修得できます。子供から高齢者まで、男性も女性もみんなで「認知症サポーター養成講座」を受講し安心して暮らせる町をつくりましょう。各地域、学校、企業などへの出張講座も行っています。是非、ご相談ください。



\*問い合わせ先 遊佐町地域包括支援センター(ゆうすい) 0871-21130

ゆうすい  
保健衛生委員会より

今年2月中旬より施設内でインフルエンザが発生しましたが、早めの対応により重篤に移行せずに済みました。施設は、抵抗力の弱い高齢者が集団で生活を送っている場であり、集団感染を引き起こしやすく、外部から持ち込まれ発生するケースが多いと考えられます。感染自体を無くすことは出来ませんが、最小限に止める努力をしなければなりません。施設の感染対策が、自分達のケアの質の指標にもなります。

今後も、各種の感染症予防を視野に入れ、職員が的確な判断と対応が出来るように知識・技術の周知に努めていきます。





退職

臨時介護員 小松 恵美子  
富中みち子

平成25年3月31日付

臨時介護品

今後も、各種の感染症予防を視野に入れ、職員が、的確な判断と対応が出来るようになります。職員の周知に努めていきます。

A photograph showing a woman with dark hair and a face mask, wearing a light blue long-sleeved shirt, assisting an elderly person with grey hair in a wheelchair. The elderly person is wearing a maroon patterned top. They appear to be in a room with wooden paneling.

●ヘアスタジオオレ  
●(有)メイクアップ 様  
●遊佐町シルバー人  
●斎藤 麗奈様  
●長澤由紀子様

● 菅原 恵美 様  
● 高橋 邦子 様  
● 斎藤 勇矢 様  
● 池田 正彦 様  
● 佐藤 二郎 様  
● 石雄 二郎 様  
● 材センター 様  
● ソジ 様

金品等寄贈

ボランティア・慰問

平成二十五年四月一日発行

編集○ゆうすい広報活動委員会

発行◎特別養護老人ホームゆうすい

施設長 佐藤久美子